チェルノブイリ 原発事故から30年

被害解明と救済の道筋を見つめる

＝ 4・26 講演会 ＝

2016年4月26日（火）13:00 –15:30

参議院議員会館 B107（定員78人）

【映像と講演】

チェルノブイリ原発事故の健康影響～5年後、30年後
吉田由布子さん…チェルノブイリ被害調査・救援女性ネットワーク

保養の現場から見えてきたこと～チェルノブイリから福島へ
黒部信一さん（小児科医／チェルノブイリ子ども基金顧問）

福島からの報告：つながりあう被害者たち～「家族の会」立ち上げの意義
飛田晋秀さん（３１１甲状腺がん家族の会副代表世話人・写真家）

Photo by Stefan Krasowski / CC BY 2.0

1986年4月26日、旧ソ連ウクライナ共和国の北辺に位置するチェルノブイリ原発が暴走、爆発しました。放射性物質はヨーロッパをはじめトルコ等広い範囲を汚染しました。

その後、現地の医者たちから、甲状腺がんや甲状腺の病気、白血病、心臓病など、多くの健康被害が報告されました。

それから30年。現在もなお、被害は続いています。

時代をおって徐々に解明されていった、その広範にわたる事故被害の実態――。
事故後５年のドキュメンタリー映像を振り返りながらお伝えします。

※参議院議員会館へのアクセス：東京メトロ・永田町駅 １番出口でてすぐ／国会議事堂前駅 １番出口徒歩５分
※12:30から、参議院議員会館のロビーにて入館証を配布いたします。

主　催：国際環境NGO FoE Japan
資料代：500円（学生・FoE Japanサポーターは無料）
申込み：メールまたはファックスにて、件名を「4・26集会」とし、お名前、メールアドレス、お電話番号をご連絡ください。

申し込み先・お問い合わせ：
FoE Japan（エフ・オー・イー・ジャパン）
Tel.　03-6909-5983
Fax.　03-6909-5986
E-mail. info@foejapan.org

FoE Japan原発チームでは、脱原発や、福島原発事故の被害者支援の活動を継続して行うため、カンパを募集しています。
郵便振替口：００１３０－２－６８０２６　口座名：FoE Japan
※必ず、通信欄に、「脱原発」とご明記の上、ご住所、ご連絡先、ご氏名をお忘れなくご記入ください。（領収書や活動報告をお送りいたします）